

平成25年度全国学力・学習状況調査における本県状況（公立学校）の概要について

大分県教育庁義務教育課

1 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査期日

平成25年4月24日（水）

3 調査実施教科及び内容

【小学校調査 第6学年：国語、算数】

	実施学校数	児童数
大分県	284校	10,445人
全国	20,590校	1,121,164人

【中学校調査 第3学年：国語、数学】

	実施学校数	生徒数
大分県	132校	10,444人
全国	10,184校	1,070,833人

4 調査の内容

①教科に関する調査

主として「知識」に関する問題（A）	主として「活用」に関する問題（B）
<ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

※国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心に出题

※国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心に出题

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査

5 調査結果の概要

(1) 各教科区分別の調査結果

対象学年	小学校第6学年			
	国語		算数	
区分	A 知識	B 活用	A 知識	B 活用
大分県	62.3	48.7	☆78.7	57.8
全国	62.7	49.4	77.2	58.4

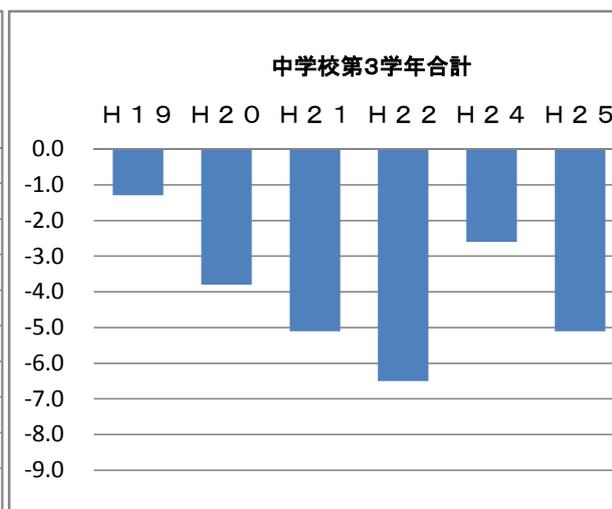
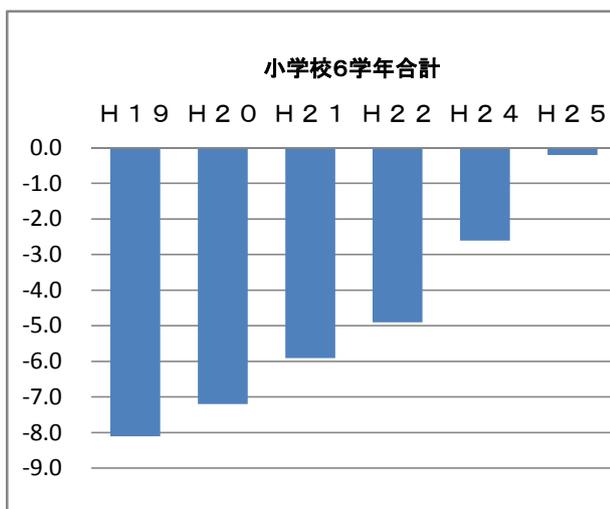
☆・・・全国正答率を超えた調査区分

対象学年	中学校第3学年			
	国語		数学	
区分	A 知識	B 活用	A 知識	B 活用
大分県	76.0	66.7	62.0	39.2
全国	76.4	67.4	63.7	41.5

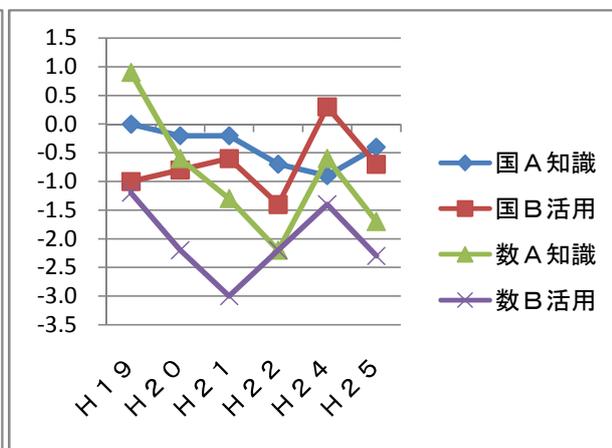
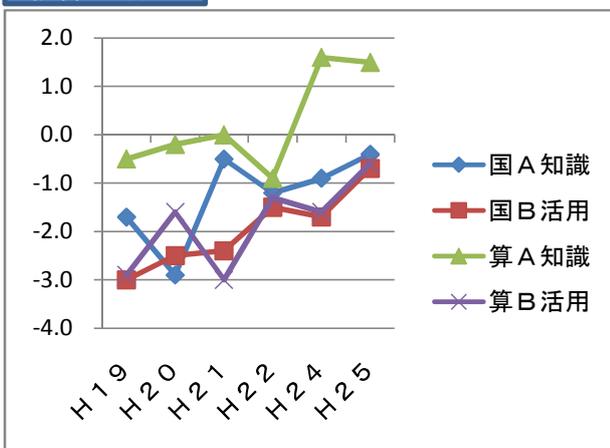
平均正答率(%)…国語(A・B)、算数・数学(A・B)それぞれの平均正答数を設問数で割った値

◆ 各教科区分別の調査結果 大分県と全国との平均正答率の差

対象学年	小学校第6学年					中学校第3学年				
	国語		算数		計	国語		数学		計
	国A知識	国B活用	算A知識	算B活用		国A知識	国B活用	数A知識	数B活用	
H19	-1.7	-3.0	-0.5	-2.9	-8.1	0.0	-1.0	0.9	-1.2	-1.3
H20	-2.9	-2.5	-0.2	-1.6	-7.2	-0.2	-0.8	-0.6	-2.2	-3.8
H21	-0.5	-2.4	0.0	-3.0	-5.9	-0.2	-0.6	-1.3	-3.0	-5.1
H22	-1.2	-1.5	-0.9	-1.3	-4.9	-0.7	-1.4	-2.2	-2.2	-6.5
H24	-0.9	-1.7	1.6	-1.6	-2.6	-0.9	0.3	-0.6	-1.4	-2.6
H25	-0.4	-0.7	1.5	-0.6	-0.2	-0.4	-0.7	-1.7	-2.3	-5.1



教科・区分別



平成25年度 全国学力・学習状況調査調査結果のポイント

小学校

- 全国順位24位(過去最高) (平成21年度 40位)
- 全国との平均正答率の差を、-0.2ポイントに縮めた。
(H21年度は-5.9ポイント)
- 算数Aは全国11位(平成21年度 25位)

中学校

- 全国順位36位(平成21年度 40位)
- 全国との平均正答率の差は、-5.1ポイント(平成21年度と同様)
- 国語Bは全国30位(平成21年度 36位)

(参考資料)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
小学校(対象教科:国語・算数)	44位	→37位	→40位	→41位(抽出)	→中止	→34位(抽出)	→24位
中学校(対象教科:国語・数学)	32位	→37位	→40位	→42位(抽出)	→中止	→31位(抽出)	→36位

総合

- 小学校では授業改善等の結果、学力向上が図られ、九州トップレベルに肩を並べつつある。
- 中学校においては、平成21年度に比べて九州トップレベルに近づきつつあるものの、更に授業改善を進める必要がある。
- ☆ 本県が掲げている全国学力・学習状況調査における九州トップレベルの学力には届かなかったため、より一層の学力向上への取り組みが必要である。

平成25年度全国学力・学習状況調査地域別平均正答率一覧

教育事務所	小学校第6学年				中学校第3学年			
	国 語		算 数		国 語		数 学	
	A 知識	B 活用	A 知識	B 活用	A 知識	B 活用	A 知識	B 活用
全国(公立)	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5
大分県(公立)	62.3	48.7	78.7	57.8	76.0	66.7	62.0	39.2
中津	63.6	48.6	79.0	57.7	74.9	64.6	61.6	36.5
別府	59.5	46.4	75.1	55.9	74.1	64.1	59.8	37.0
大分・佐伯	62.7	49.6	79.2	58.6	76.4	67.1	62.3	39.8
竹田	61.7	46.3	79.5	57.7	75.8	67.6	61.2	39.4
日田	62.7	49.6	80.9	56.4	76.4	68.6	60.9	38.0
最大差(H25)	<u>4.1</u>	3.3	<u>5.8</u>	2.7	2.3	4.5	<u>2.5</u>	<u>3.3</u>
最大差(H21)	3.2	3.4	4.0	3.1	2.8	5.5	1.7	2.7

※佐伯教育事務所管内は佐伯市のみであるため、文部科学省の定める実施要領の趣旨を踏まえ、大分教育事務所と併せて表記している。

平成25年度 全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙、学校質問紙結果のポイント

【ポイント1】 中学校3年生の数学に対する関心・意欲・態度及び理解について

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他 無回答	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9		
中	(76)	(65)	(76)	数学ができるようになりたいと思いますか	75.8	16.4	4.5	3.1						0.1	0.2
					73.2	17.6	5.0	3.5						0.1	0.5

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(74)	(63)	(73)	算数の勉強は大切だと思いますか	72.2	19.7	5.5	2.5					0.0	0.1
					72.0	20.1	5.1	2.4					0.0	0.3
中	(74)	(63)	(74)	数学の勉強は大切だと思いますか	48.1	33.8	12.3	5.6					0.0	0.1
					46.1	34.4	13.1	5.9					0.0	0.5

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(75)	(64)	(74)	算数の授業の内容はよく分かりますか	44.5	35.7	14.5	5.1					0.0	0.1
					45.2	35.0	14.3	5.2					0.0	0.3
中	(75)	(64)	(75)	数学の授業の内容はよく分かりますか	28.0	38.6	23.1	10.2					0.1	0.2
					31.7	38.8	20.4	8.5					0.0	0.5

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(73)	(62)	(72)	算数の勉強は好きですか	38.1	28.4	18.7	14.6					0.1	0.1
					37.9	28.3	19.4	14.0					0.0	0.3
中	(73)	(62)	(73)	数学の勉強は好きですか	26.7	27.2	24.8	21.2					0.0	0.1
					28.1	27.4	24.4	19.7					0.0	0.5

【ポイント2】 小学校の顕著な取組例

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他・ 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(78)			第6学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	46.5	46.8	6.4	0.4						0.0
					31.0	56.3	11.0	1.5						0.1
中	(70)			第3学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	30.8	53.8	13.1	2.3						0.0
					26.0	60.0	12.5	1.4						0.1

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他・ 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(103)			第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出しましたか(国・算共通)	21.3	63.8	14.9	0.0						0.0
					18.1	57.0	24.5	0.2						0.2
中	(92)			第3学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出しましたか(国・数共通)	10.0	53.8	35.4	0.8						0.0
					10.4	48.9	38.5	1.7						0.5

【ポイント3】 学校組織をあげての取組

平成25年度学校質問紙

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(117)			学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	69.5	28.4	2.1	0.0						0.0
					57.9	40.0	1.9	0.0						0.2
中	(106)			学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	53.8	45.4	0.8	0.0						0.0
					49.8	47.3	2.7	0.0						0.2

平成21年度学校質問紙

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(95)			学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間に共有し、取組にあたっていますか	56.7	42.0	1.3	0.0						0.0
					54.4	44.0	1.6	0.0						0.0
中	(92)			学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間に共有し、取組にあたっていますか	44.0	54.5	1.5	0.0						0.0
					42.8	54.0	3.0	0.0						0.2

平成25年度学校質問紙

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他・ 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(118)			校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	66.3	28.4	5.0	0.0						0.4
					58.0	32.3	9.1	0.2						0.4
中	(108)			校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	40.0	48.5	10.8	0.8						0.0
					38.6	38.6	21.6	0.8						0.4

平成21年度学校質問紙

校種	質問番号			質問事項	選 択 肢									その他・ 無回答
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小	(98)			校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	25.7	46.9	26.1	1.3						0.0
					43.1	38.4	17.6	0.9						0.0
中	(95)			校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	15.7	38.8	44.8	0.7						0.0
					28.8	39.5	29.7	1.9						0.1

一 今村さんたちは、「**1** 打ち上げ花火の歴史」の **A** の内容について、「編集会議での山下さんの意見」を受けて書き直しました。「書き直した部分」の **B** の中に入るふさわしい内容を、「**3** ずかんの一部」の中の言葉を使い、書き出しの言葉に続けて書きましょう。

【編集会議での山下さんの意見】

「塩素酸カリウムなどの輸入」のこのだけでは、見出しの「**1** 打ち上げ花火の歴史」との関係がよく分からないな。塩素酸カリウムなどが輸入されたことによって、どのような打ち上げ花火を作ることができるようになったのかを書き加えたほうがいいね。

【ずかんの一部】

開国後、花火師たちはさまざまな色や明るさの打ち上げ花火を作ることができるようになりました。これは、1879（明治12）年ごろ、海外から塩素酸カリウムなどが輸入されるようになったからです。

～（内容が続く）～

【書き直した部分】

【1879（明治12）年ごろ】
海外から塩素酸カリウムなどが輸入されるようになったことにより、

二 今村さんたちは、「**3** 花火師の小野さんの声」の「**A** いろいろな苦勞をこえて」の **B** について、「編集会議での西村さんの意見」を受け、そこに書く内容を考えました。そこで、「**3** ずかんの一部」の内容を引用して書くことにしました。引用する二つの文を探し、それぞれの文のはじめの五文字を書きましよう。なお、「**1**」も字数にふくみます。

【編集会議での西村さんの意見】

見出しの「**A** いろいろな苦勞をこえて」に合わせて、「ずかんの一部」の中から、小野さんの苦勞が具体的に書かれている文を引用したほうがいいと思うわ。

【ずかんの一部】

～花火師の小野さんの声～

みなさんは、花火師が花火を打ち上げるまでにどのような苦勞があるか知っていますか。わたしは、花火師のわざを身に付けるために、約10年もの期間をかけて修行をし、一人前になることができました。そのわざを生かし、安全に花火を打ち上げるために、毎回、準備から後片付けまで、いっときも気をぬくことなく取り組んできました。多くの人に喜んでもらうために、わたしたち花火師はさまざまなわざをみがき、細かな心がけをしています。ぜひ知っておいてほしいと思います。

～（内容が続く）～

三 今村さんたちは、「**4** まとめ」の **C** について、「編集会議での町田さんと山下さんの意見」を受け、書き出しの文に続く内容を考えました。おどの条件に合わせて書きましよう。

【編集会議での町田さんと山下さんの意見】

町田さん 「**4** まとめ」には、題名「打ち上げ花火の伝統」に合う内容を書いたほうがいいと思うわ。書き出しの文（「打ち上げ花火は、…伝統といえます。」）は、「歴史」に注目し、「**1** 打ち上げ花火の歴史」の内容をまとめているわね。

山下さん それに続く内容は、「現在」の打ち上げ花火に注目し、「**2** 打ち上げ花火の種類」と「**3** 花火師の小野さんの声」の「**イ** つくり出す伝統」の中に書かれている、現在における打ち上げ花火の形や色、打ち上げるときのくふうを取り上げて書いたほうがいいね。そして、最後に考えたことをまとめて書いてらうかな。

打ち上げ花火は、およそ400年もの歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。

◆

800字 1000字

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。
※◆の印から書きましよう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましよう。

（条件）

- 「編集会議での町田さんと山下さんの意見」を受け、「下書きの一部」の「**2** 打ち上げ花火の種類」と「**3** 花火師の小野さんの声」の「**イ** つくり出す伝統」の両方から内容をとり上げて書くこと。
- 取り上げた内容について、あなたが考えたことを具体的に書くこと。
- 書き出しの文に続けて、八十以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は、字数にはふくみません。

問題の概要（正答率）

三 複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く（17.9%）

大分県正答率（18.1%）

正答

三 （例）（打ち上げ花火は、およそ400年もの歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。）現在では、型物の開発が進んでいます。また、中間色も使ったカラフルな花火を作ったり、音楽に合わせて打ち上げたりしています。長い伝統を受けつぎ、新たなことにちよう戦する花火師さんたちの思いに感動しました。（100字）

A問題1 話し合いをする

1 第一中学校の生徒会では、新入生歓迎会のプログラムについて話し合っています。次は、その「プログラムの案」と「話し合いの一部」です。司会は、山田さんです。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

- 【プログラムの案】
1. 生徒会長の言葉
 2. 合唱（2、3年生）
 3. 学校紹介クイズ
 4. 花の贈呈
 5. お礼の言葉



- 一 線部「なぜ、そう思うのですか」という司会の山田さんの発言は、場面①ではどのような役割を果たしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。
- 1 話し合いの目的を確認する役割。
 - 2 考えの理由を明確にする役割。
 - 3 発言の内容を要約する役割。
 - 4 様々な意見をまとめる役割。

二 場面④で、山田さんは司会の役割を果たすために何と言えよいですか。Aの発言として適切なものを、次の1から5までのの中から三つ選びなさい。

- 1 このことについて、他に意見はありませんか。
- 2 早川さん、なぜ合唱を先にするのですか。
- 3 私は、長井さんの意見に賛成です。
- 4 南さんは、二人の意見を聞いてどう思いますか。
- 5 長井さんは、早川さんの意見についてどう思いますか。

問題の概要（正答率）

- 一 話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する（90.7%）
- 二 話し合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する（55.2%）

大分県正答率（89.8%）

大分県正答率（55.6%）

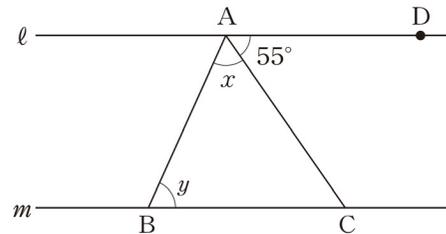
正答

- 一 2
- 二 1, 4, 5

A 問題 6 平面図形の基本的な性質

6 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の図で, 直線 l , m は平行です。 $\angle DAC$ の大きさは 55° です。
 $\angle x + \angle y$ の大きさは何度ですか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。



- ア 55°
- イ 110°
- ウ 125°
- エ 135°

問題の概要 (正答率)

(1) 平行線の間で三角形について, その内角 x , y の和の値を選ぶ (79.3%)

(参考)

TIMSS2007 における正答率は 77.9%

正答

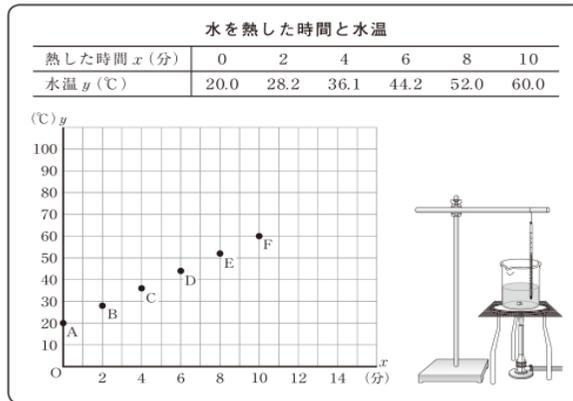
(1) ウ

大分県正答率 (75.3%)

B問題③ 日常的な事象の数学化と他事象との関係（水温の変化と気温の変化）

③ 太一さんは、水を熱したときの水温の変化を調べました。そして、水を熱した時間と水温について下の表のようにまとめ、 x 分後の水温を y ℃として、グラフに表しました。

調べた結果



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 水温は、熱し始めてから10分間で何℃上がりましたか。10分間で上がった温度を求めなさい。

(2) 太一さんは、水温が80℃になるまでにかかる時間を求めるために、調べた結果のグラフにおいて、水を熱した時間と水温の関係を表す点Aから点Fまでのすべての点が一直線上にあると考えることにしました。

このとき、水温が80℃になるまでにかかる時間を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

(3) (2)では、水を熱し始めてから x 分後の水温 y ℃について調べました。ここでは、2つの数量 x 、 y の値の組を調べ、それらの関係を表す点がグラフ上で一直線上にあると考えました。

これと同じように考えて求められるものが、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

ア

標高と気温
何℃?

求めるもの
富士山ふもとにある河口湖観測所(標高860m)の気温が23.3℃のときの富士山6合目(標高2500m)の気温

知られていること
ある地域の気温 y ℃は、地上から1万mぐらまでは、高さ x mが高くなるのにもなって、100mごとに約0.6℃下がる。

イ

速さと時間
何分?

求めるもの
家から2100m離れた図書館まで分速70mで移動するときにかかる時間

知られていること
ある道のりを分速 x mで y 分間移動するとき、 x と y の積は一定である。

ウ

重さと料金
何円? 140円

求めるもの
送りたい郵便物の重さが90gのときの料金

知られていること
重さ x gの定形外郵便物の料金 y 円は、50gまでが120円、100gまでが140円のように、重さによって決められている。

エ

時刻と気温
何℃?

求めるもの
日の出の気温が10℃だった日の15時の気温

知られていること
晴れの日、日の出から x 時間後の気温 y ℃は、日の出から14時ごろまでほぼ上がり続け、その後翌日の日の出まではほぼ下がり続ける。

問題の概要 (正答率)

(3) 水を熱した時間と水温と同じように考えて求められる事象を選ぶ (27.5%)

大分県正答率 (25.5%)

正答

(3) ア